

第42回 北九州大腿骨近位部骨折 地域連携パス協議会

2025年1月22日

**北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会事務局
産業医科大学 リハビリテーション部
村上 武史**

本日の議題

1. 地域連携パス北九州標準モデル利用状況
2. 連携パス改定に伴う情報共有
3. その他

本日の議題

1. 地域連携パス北九州標準モデル利用状況
2. 連携パス改定に伴う情報共有
3. その他

大腿骨近位部骨折地域連携パス 集計結果

全受理データ

(2011年8月～2024年12月9日)

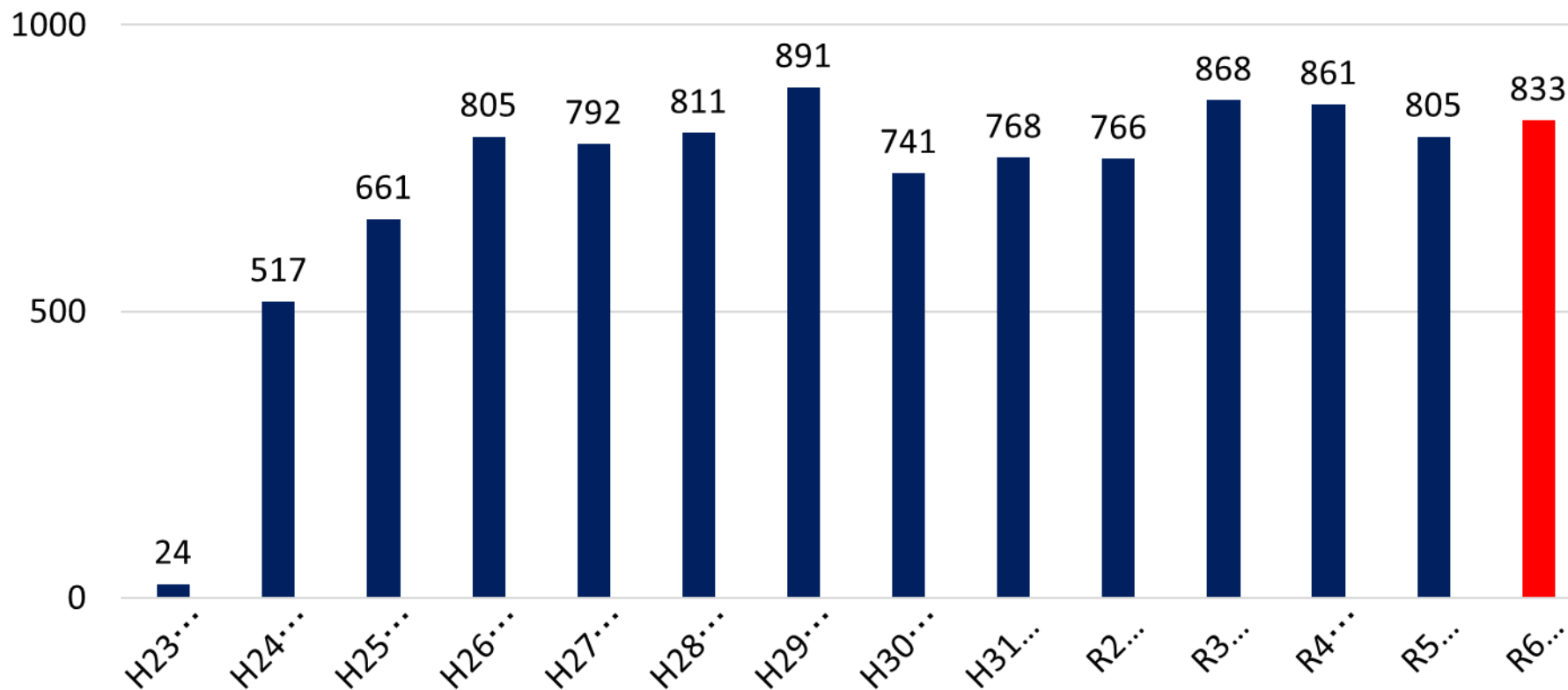
地域連携パスの利用状況

2024.8.8～2024.12.9までの約4カ月間

- 急性期医療機関のパス利用状況
 - 事務局へ送信された件数・・・**107件**
 - 合計10163件（受理7030件＋未送信3133件）
- 回復期等連携医療機関のパス利用状況
 - 事務局へ送信された件数・・・**238件**
 - 合計10163件（受理8153件＋未送信2010件）
- 急性期医療機関と回復期等連携医療機関の両施設の利用状況
 - 事務局へ送信された件数・・・**105件**
 - 合計**5021件**

年別の地域連携パスの利用状況

前回からの増加件数 : 240 件

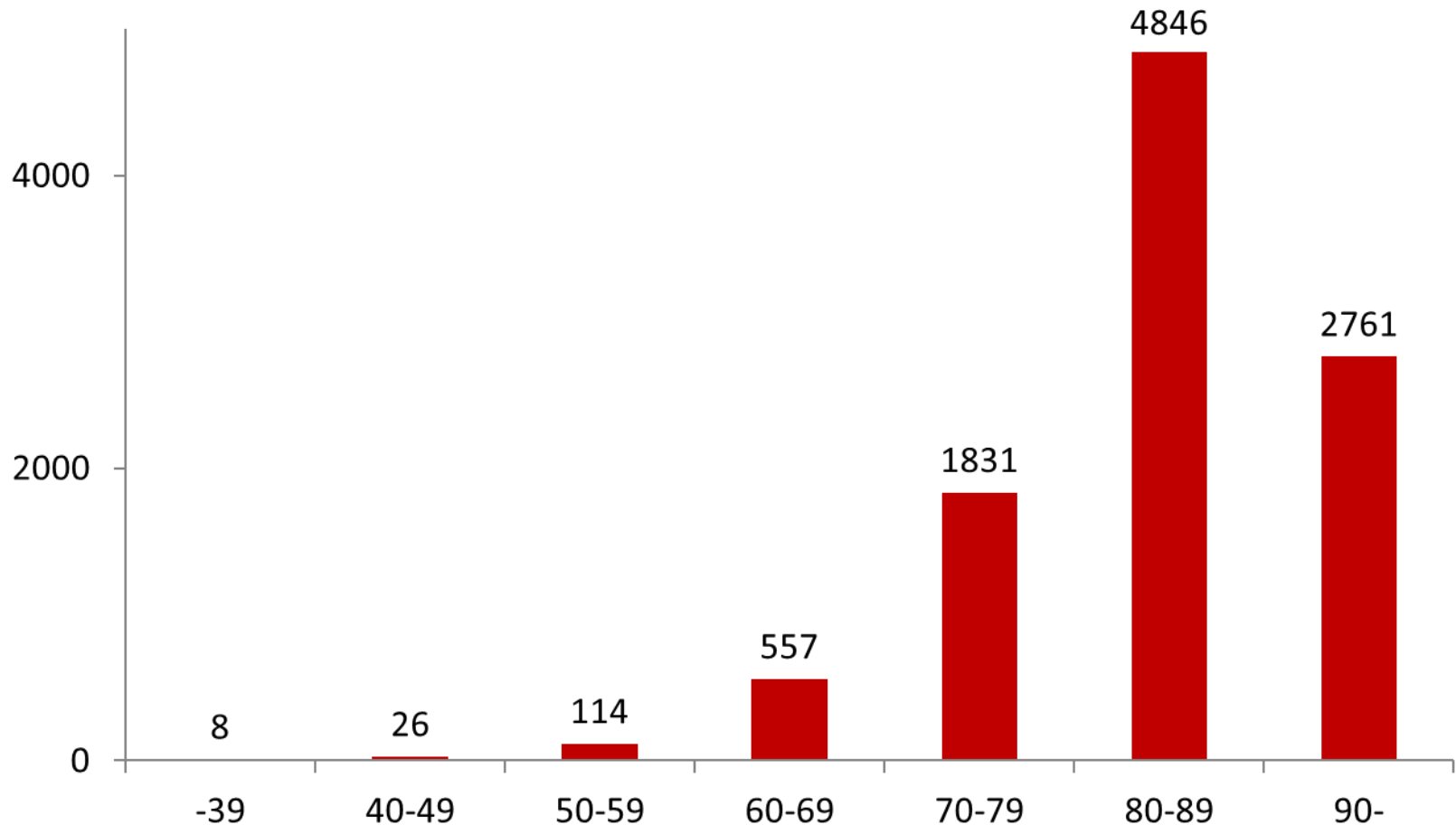


年代別利用状況

発症平均年齢 83.9 ± 8.9 歳

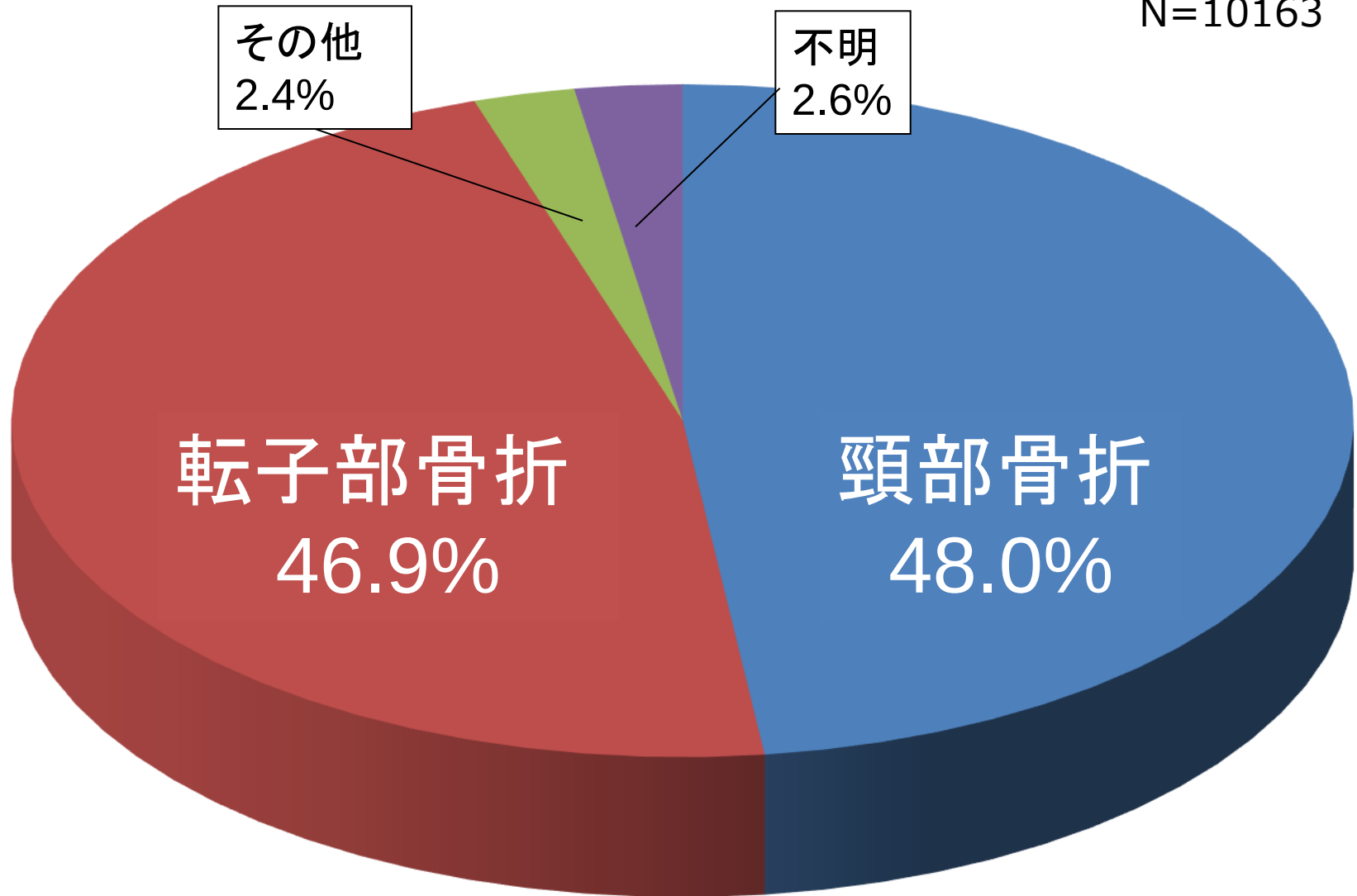
N=10143

(件)

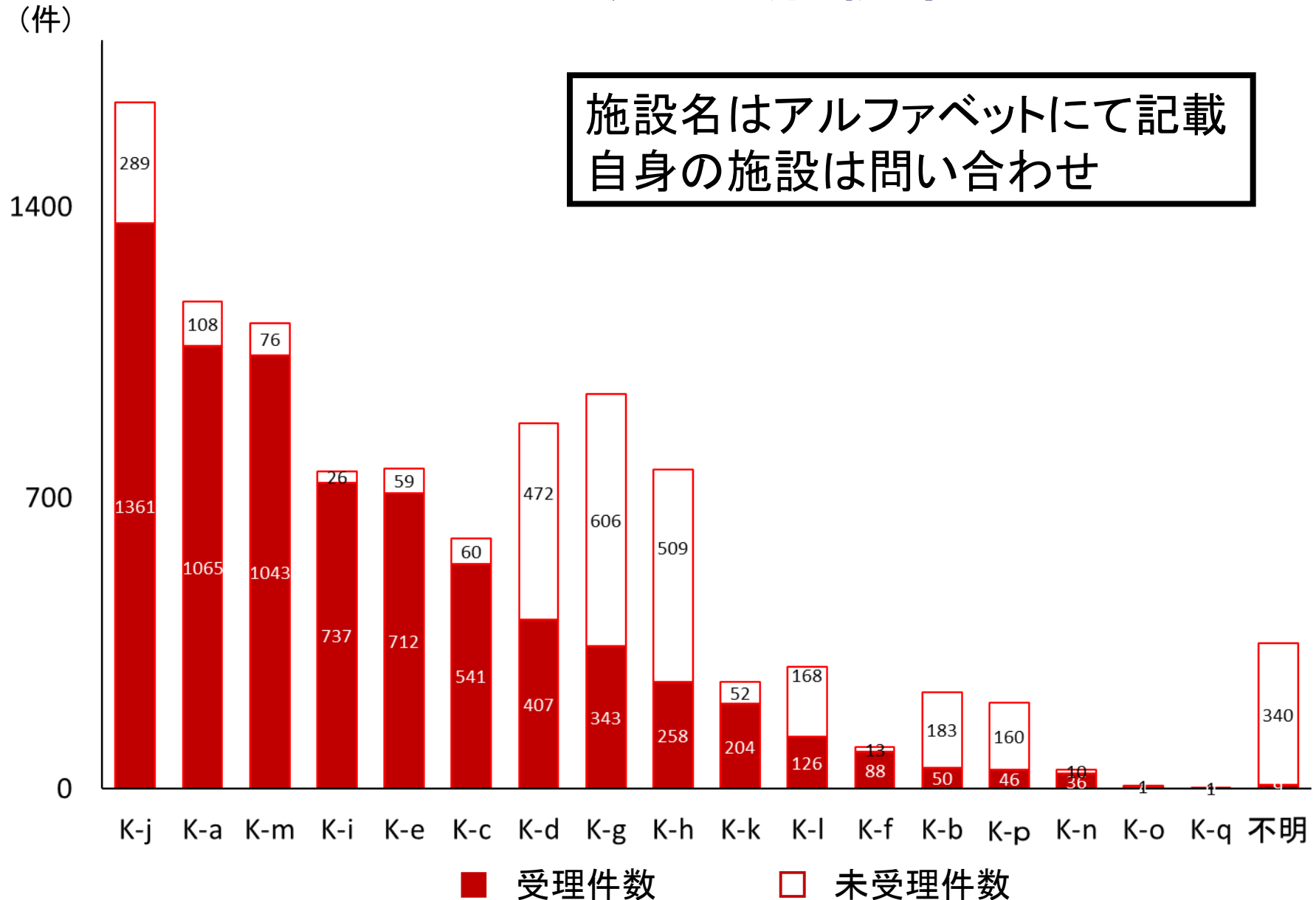


骨折型別発症割合

N=10163

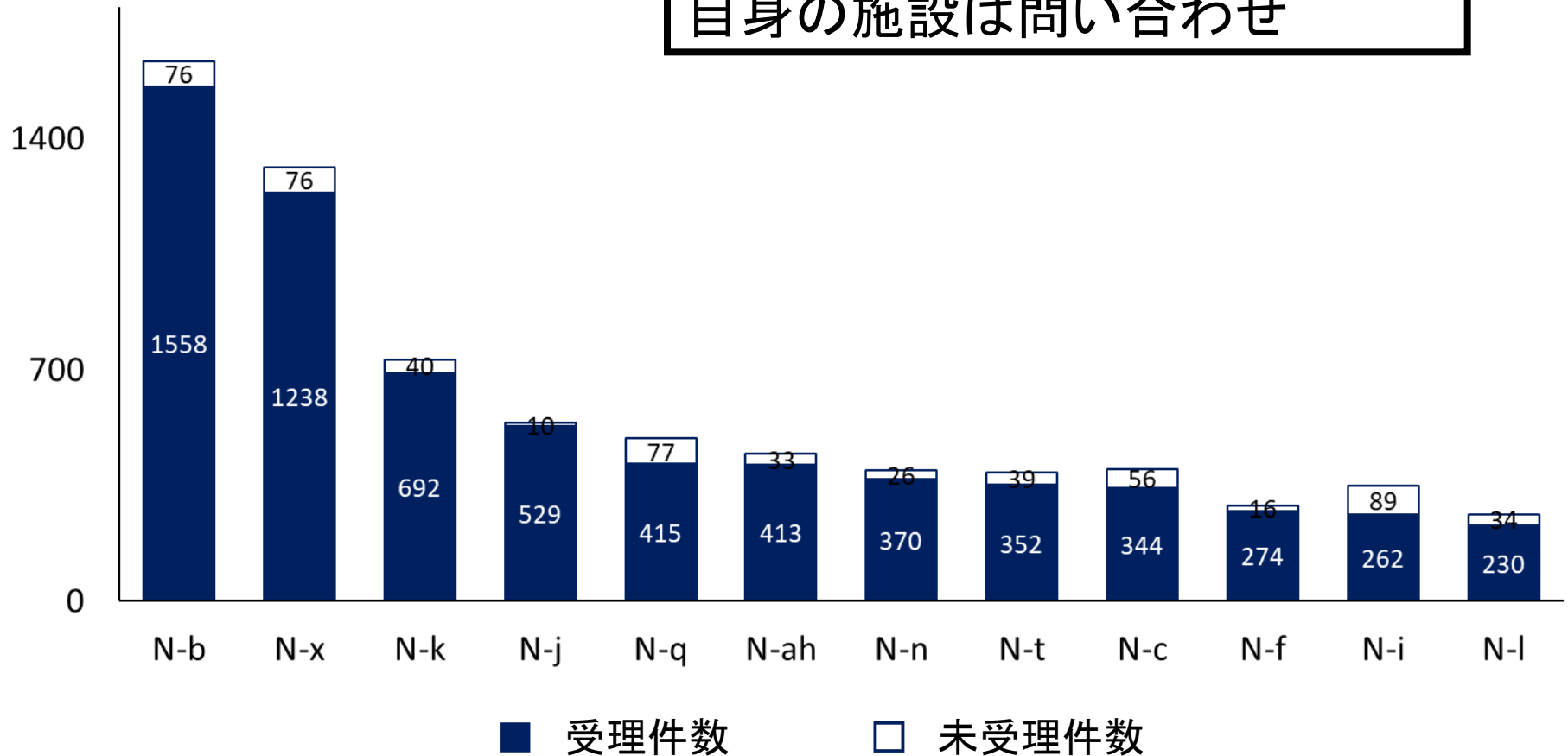


急性期医療機関



回復期等連携医療機関①

施設名はアルファベットにて記載
自身の施設は問い合わせ

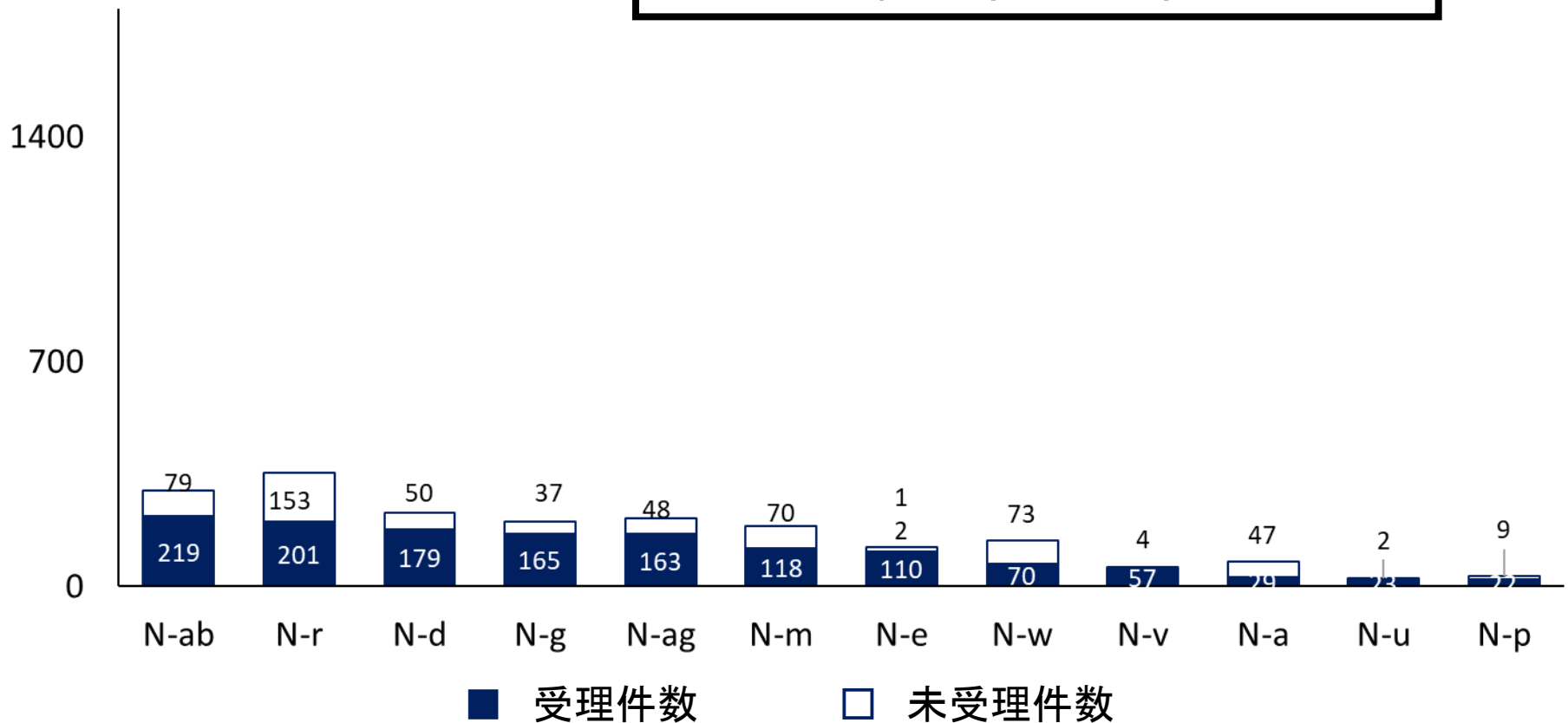


* 現在入院中の可能性があるため、受案件数が低い場合あり

* 20件以上受理した施設

回復期等連携医療機関②

施設名はアルファベットにて記載
自身の施設は問い合わせ



* 現在入院中の可能性があるため、受理件数が低い場合あり

* 20件以上受理した施設

本日の議題

1. 地域連携パス北九州標準モデル利用状況
2. 連携パス改定に伴う情報共有
3. その他

連携パス改定に伴うお願い

地域連携パス北九州標準モデルVer1.4導入に伴い、
最新版(Ver1.4)の
パスシートの利用をお願いします。

改訂版5TTS測定方法



測定環境 椅子は座面の高さが43～45cmに調整
手すりや平行棒等の物的介助の使用

測定 ストップウォッチを用い、測定のタイミングは
『セラピストが声掛けを始めた時点から、5回目の動作終了時に椅子に身体が触れた時点』。
各測定者が2回実施し、2回の平均値を代表値

声かけ 「できるだけ早く5回立ち座りを繰り返してください」
「手すりは用いて構いません」

改定版5回立ち上がり試験

- 測定方法

- ✓ 上肢支持を用いて秒数を測定
- ✓ 上肢支持無しで測定可能症例も、同様に測定
(上肢支持無しでの測定結果は、空白への記載)

- 実施に伴う脊椎圧迫骨折の危険性

- ✓ 着座時の衝撃
- ✓ 骨の脆弱性及び脊椎圧迫骨折既往症例で要配慮